



森林官からの手紙

『国有林の最前線より』

青森森林管理署 内真部森林事務所 森林官 工藤 庸子

「山が好きなんですか？」
3度目の森林官ですが森林官になる度に必ず聞かれる質問の一つです。私自身山登りをするわけでもなく、樹木や植物に特別詳しい訳でもないのでもいつも返答に困ってしまうのですが、そんなことを聞かれる度に自分がどうしてこの職場を目指したのかふと考え、初心に返る良い機会になっています。

私が勤務する内真部森林事務所は、青森県青森市の北西部にあり、内真部川、天田内川等中小河川の上流域に位置し、青森市の一部約4,700haの国有林を管轄しています。管内の森林の現況は、主にヒバを主体とする天然林やスギ等の人工林からなっています。管内全域が中小河川の集水域で下流に住宅地や農耕地が広がっていることから、森林のほとんどが水源かん養保安林に指定されています。

森林事務所から車で10分程のところ、青森県民の森にも指定されている眺望山自然休養林があります。この眺望山周辺では日本三大美林のひとつであり、青森県の県木となっている天然青森ヒバを見ることが出来る。



ヒバ林 (眺望山自然休養林内)



ヒノキ人工林 (眺望山自然休養林内)

なく、遊歩道も整備されていることから、初心者でも気軽に散策が楽しめる、青森市民はもちろん近隣市町村民の憩いの場として利用されています。

地域の森として親しまれる一方で、眺望山の一部は植物群落保護林にも設定されており学術的に貴重な山でもあります。原生的なヒバ天然林を保存するとともに、自然の推移に委ねた状態が保たれるように人工的な手入れはほとんど行われず、様々な研究や施業に役立てるための管理を行っています。

また、休養林の中には日本で最初の森林鉄道である津軽森林鉄道の名残である橋脚跡なども見ることが出来ます。



森林鉄道橋脚跡

非眺望山へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

さて、昨年の4月に赴任してもうすぐ2年目の夏を迎えようとしています。久しぶりの森林官業務で、赴任当初は右往左往していましたが、職場の皆さんに助けられながら業務に取り組んでいます。

何年経っても日々勉強の毎日で、職場の皆さんから頂くアドバイスやサポートはもろろん、山へ足を運ぶ度に、そこに出会う地域の方や各事業請負で入林している業者の方々から意見や情報を頂く事が多く、それが私にとってはとても勉強になっていきます。そして、そんな現場の声を大事にしていきたいと思う今日この頃です。

雪解け間もないヒバ林の中でひっそりと咲くヒメホテイランを見つけたら、巡視中にニホンカモシカと鉢合わせしたり、ツキノワグマの足跡を見てはドキドキしたり…現場勤務ならではの貴重な経験が出来ることに感謝しつつ、現場の最前線で国有林に関わる者として、良い山づくりにつながるよう微力ながら国有林の保全管理に努めていきたいと思えます。



ヒメホテイラン